

コンセプト「主体・楽しさ・創造・発見」について

『耕人塾』のコンセプト（活動の指針や考え方）を「主体・楽しさ・創造」としてきましたが、今回から「発見」を付け加えることにしました。このことについて説明したいと思います。

「**主体**」:「主体」とは、自分の意志・判断・責任で行動しようとする態度のことです。塾生の皆さん一人ひとりが他からの指示や指導を待つのではなく、自分の置かれた場で何をしなければならないかを自ら判断し行動することです。それには自分の感性を磨き、自己の言動を工夫し、勇気を持って行動することが大切です。主体となって行動ということは責任を伴うことであり、嫌な思いをすることもありますが、感動や達成感に繋がります。そして、そのような行動は必ず自分を大きく成長させてくれます。まず「わたしがやります」と言ってみませんか？

「**楽しさ**」:「楽しさ」とは、心が満ち足りて愉快になることです。楽しさは他から与えられるだけではなく、自分からつくり出す工夫が必要です。そのためには明るく笑顔で元気よく、礼儀正しいことが基本になります。失敗したり壁にぶつかったりすることもあります。結果を素直に受け入れて、ポジティブに対応していくことでチャンスにすることが出来ます。塾生一人ひとりが楽しんで参加し、周りをも楽しくさせるためにはどうするかを考えて行動できるようになったら素晴らしいですね。困難なことがあっても「明るく楽しく」活動していきましょう！

「**創造**」:「創造」とは、既成概念にとらわれないで新たなものを創り出していくことです。活動が安定してくると現状を維持しようとする守りに入ってしまいがちですが、それでは活動がマンネリ化し停滞してしまいます。常に、さらに良い方法はないかを考えていくことが創造です。そのためには、それぞれの考えや意見を大切に、奇抜なアイデアも排除しないことが大切です。『耕人塾』の活動の中で、塾生の皆さんからどんな発想やアイデアを出してくれるかとても楽しみです。「もっと良い方法があるはずだ」と考えてみませんか？

「**発見**」:「発見」とは、日々の生活や実践の中で新しいことに気付いたり見つけたりすることです。それらの気づきや発見が自分の視野を広げ、新たな自分を作り上げていくことに繋がります。自然の美しさや友達の良さを見つけたり、分からなかったことが分かったりすることは大きな喜びです。そのためには、自分の感性を鋭くしていかなければなりません。感性を鋭くするためには素直な心と探究心が必要です。日常の生活の中に宝物が沢山転がっているはず。「一日一個、良いところを発見しよう！」という気持ちで生活するとワクワクしますね。

これからの『耕人塾』では、「主体・楽しさ・創造・発見」の4つのコンセプトを基に活動し、他の団体とのコラボレーション（共同・協力・連携）も工夫しながら、石巻地域に心の復興の大きなうねりを起こしていきたいと思っています。

「中学生のあいさつに心和む」

7月4日(月)河北新報「声の交差点」(菅野美幸さん・石巻市73歳)の文章を紹介します。

「朝夕に会うと、必ず立ち止まり、脱帽してあいさつをしてくれる近所の中学生がいます。あいさつされるたびに心地よく、今時珍しい真面目な男の子だなあと感じています。先日は試合の帰りだったらしく、野球のユニホーム姿で、いつものように『ただいま』とあいさつをしてくれました。『今日はどうだったの?』。私にしてみれば孫みたいな感じで話しかけました。すると、自分は足の調子が悪く出場できなかったことや結果について説明してくれ、最後に『とっても楽しい一日だった』と話してくれました。中学生との会話に心がほっこりします。ご両親や学校の先生方、部活動の指導者のしっかりした教えと、愛情に包まれた家庭が目に見えそうです。」

あいさつが人の心を和ませてくれるいいお話です。心に届くあいさつをしたいですね。